

## 【NHK と裁判してる党弁護士法 7 2 条違反で】 補足インタビュー

9 月 2 日 参議院議員会館 403 号室 浜田聡事務所

対応者 党首 立花孝志さん

参加者 3 名

終始、こちらの質問にも丁寧に答えていただき、持論も展開、1 時間みっちりと言見交換できた。

### 1 アンケート回答についての確認

不同意性交犯罪の創設に反対、地位関係性利用型犯罪規定は不要との回答についてその考え方を聞いた。

立花党首回答・・・小さな政党であるので、まだそこまでの議論ができていない、積極的に要らない、と言ってるのではない。

2 女性が政治の場に参加できない要因の一つとして社会的な問題を挙げているが、それについての対応策は？

立花・・・女性が政治に出られない理由は社会的慣習、選挙にお金がかかる問題などがある、NHK 党には年間約 1 億 7 千万の政党助成金が入る。選挙で取った得票に応じて女性は 100%、男性は 70%を支給することになっている。

社会的環境を整える意味では被選挙権の引き下げを求めて裁判をやっている、学校を出たての人が政治に関心をもっても立候補できないのはおかしい、被選挙権の年齢引き下げ（18 歳あるいは 20 歳）が実現できると女性の参加も増えると思う。いったん就職してしまうと難しい。すでに 2 件の裁判を行っている。

その他、諸派党構想、アベノマスクブラの選挙ポスターについてなど多岐にわたる質問に答えていただきました。幸福実現党などは地方の定員割れの市議会議員に送り出すなどの試みをしているが NHK 党は都市政党なのでそこまではやっていない。ネット時代になって NHK 党だからという事もあるだろうが、候補女性に対する攻撃が増しているが、安全に立候補できるような環境を作る必要がある。いじめや有権者からのハラスメントなどに対処していく。

これまで政治の世界に居なかった人、若い人、女性などをとにかく出していきたい。新しい勢力を増やして、政治を変えていきたい。選挙制度の見直しについてはかなり詳細なプランを述べていました。比例重複をなくし、法的根拠のない衆議院の 11 ブロックをなくして全国区にすれば小政党も議席を取れる。足切り、死に票がなくなる。